

【様式第 1-1号】表

「ひろげようボランティア」

(ボランティア仲間を増やす)

見本

令和 年 月 日

\*申請される事業について下記にご記入ください。(裏面には団体の現在の状況をご記入ください)

ひろげようボランティア 助成金申請額	20,000円	・1,000円未満切り捨て ・上限額 20,000円			
申請する事業の名称	手話に学ぶコミュニケーション講座				
<p>■申請する事業の目的(なぜこの事業が必要なのか)</p> <p>新規会員の参加が低調となり、グループの会員が減少しているため、今回の講座で手話を通じてコミュニケーションの本質について学び、活動に共感した参加者とつながることで、ボランティア活動の参加へのきっかけづくりとするため。</p>					
<p>■申請する事業の内容</p> <p>① 開催予定時期 令和6年 7月 ~ 7年 1月ごろ</p> <p>② 会場 ○○福祉センター</p> <p>③ 定員 20名程度(一般参加 15名、申請グループ 5名)</p> <p>④ 事業の種類 <u>講座</u>・研修会・イベント・その他( )</p> <p>⑤ 具体的な事業内容 <u>新規事業</u>・既存事業の見直し・他団体との協働・その他 該当に○印を)</p> <p>参加者と一緒にコミュニケーションの本質を学ぶ講座と実技(ロールプレイやグループワーク)を2回開催する。</p> <p>■事業の対象者、周知先・方法</p> <p>広く市民や高校生、大学生の若い世代を対象とする</p> <p>広報おおつやチラシの配布</p>					
■助成金を申請する事業の予算(収支見込)					
支出の部 (事業の費用)		収入の部 (財源)			
費目	金額(円)	内訳	費目	金額(円)	内訳
謝金	20,000	講師謝金 @10,000×2回	ボランティア 基金助成金	20,000	ひろげようボランティア 助成金
会場費					
通信費			自己資金	6,120	団体自己負担金
賃借料	3,000	プロジェクター賃借料 @1,500×2回			
印刷費	2,000	チラシ印刷費用	参加費		
保険料	1,120	ボランティア行事用 保険料@560×2回	その他		
消耗品費					
その他					
支出合計(A)	26,120		収入合計(B)	26,120	

\*支出(A)と収入(B)の合計額が同じになるようご記入ください

\*支出金額に消費税・送料分を含む場合は、必ずその旨ご記入ください。

\*助成申請額は、1,000円未満は切り捨ててください。その場合、自己財源がない場合でも、1,000円未満の金額は、グループでご負担ください。

【様式第 1-1号】裏

ひろげようボランティア助成金 申請書

申請グループの概要	ふりがな グループ名 (施設名)	〇〇グループ			
	ふりがな 代表者名 (施設長名)	しゃきょう たろう 社協 太郎	電話	携帯電話	〇〇-△△-□□
	所在地	〇〇福祉センター		固定電話	〇〇-△△-□□
	申請者分類	登録グループ・登録希望グループ・福祉施設			
	設立年	昭和 平成 令和	10年 (西暦 1998)	会員数	20人
連絡先	この助成の書類送付・問合せ先	ふりがな 名前 あすと たろう 明日都 太郎	住所	〒520-1234 大津市浜大津〇丁目 1-1	
		電話番号	〇〇-△△-□□	アドレス	〇〇@△△

■貴グループの主な活動内容をご記入ください。(活動目的・活動日・活動場所・対象者など)  
 ※施設の場合は、ボランティアの受け入れ状況や地域との交流についてご記入ください。(イベントなど)

【活動目的】

手話を主たるコミュニケーション手段として暮らすろう者と手話を真ん中に置き、ともに活動したいと思う方々が集い、活動・交流する中でお互いに理解しあい、共に学び、手話の普及、聴覚障がいの理解啓発に努める

【活動場所】 〇〇福祉センター

【対象】 ろう者や手話に関心のある方

【活動内容】

手話活動/週1回

病院等への慰問活動/年3回(依頼に応じて)

活動目的・活動日・活動場所・対象者などを具体的にご記入ください。

■貴グループの令和5年度の活動についてご記入ください。※活動の様子がわかるチラシ等の添付でも可

① 手話活動/毎週水曜日 計40回実施

② 病院への慰問活動/年3回

〇〇病院 (10/17)

□□病院 (12/12)

△△デイサービス (3/10)

令和5年度の活動日、活動内容などの活動実績を具体的にご記入ください。